



特集展示

大森駅開業前夜

—150年前の大森を振り返る—



令和8(2026)年

6月24日(水)~9月13日(日) 午前9時~午後5時まで **観覧無料**

休館日 月曜日 ただし、祝日の場合は開館し、振替休館はしない
8月31日(月)~9月4日(金)までは展示替えのため休館 1・3階 特集展示コーナーなど

 **大田区立郷土博物館**
Ota City Folk Museum

〒143-0025 東京都大田区南馬込五丁目11番13号
TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283
URL <https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/manabu/hakubutsukan/index.html>



◆展示概要

明治時代初期は、移動手段が東海道の往来(徒歩)から鉄道へと移り変わる時期でした。この時代の大森地域は、どのようなようすだったのでしょうか。

本展示は大森駅が令和8(2026)年6月に開業150周年を迎えることを記念して、東海道の中の宿(あいのしゆく)の成り立ちや大森停車場(大森駅)の設置準備について紹介します。また、地場産業であった海苔の養殖と麦わら細工の生産をとおして、大森駅開業前後の大森地域を見つめ直します。

※本紙および本展の企画・構成は、乾賢太郎(当館学芸員)が行い、印南小雪(当館学芸員)が補佐しました。その他、本紙や本展にかかる準備については、当館学芸員および職員の協力を得ました。



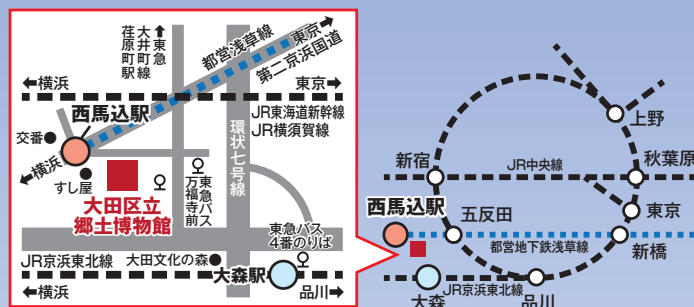
[左上]昇斎一景「六合陸蒸気車鉄道之全圖」明治4(1871)年
[左下]歌川広重(二代)「大日本物産園會 武蔵国浅草海苔製園」明治10(1877)年
[右]歌川広重(三代)「東京横浜名所一覽図會 大森麦わら細工」明治3(1870)年
※上記3点は当館蔵

◆展示構成

- ・1階特集展示コーナー「交通の変遷—東海道から鉄道へ—」
- ・3階特集展示コーナー「大森地域の地場産業—海苔と麦わら細工—」
- ・3階常設展示室壁面「写真で振り返る大森地域の風景」



[左]大森駅東口、[右]大森駅西口(宮川茂氏撮影、昭和44(1969)年6月)／当館蔵



交通案内

- JR京浜東北線「大森駅」北口改札(山王方面)東急バス4番乗り場から「荏原町駅入口」行きに乗り、「万福寺前」下車、徒歩2分
- 都営地下鉄浅草線「西馬込駅」東口から徒歩7分

◆関連催事

- ①体験講座(中学生以上)
 - 7月 5日(日) 10:00~16:00 大森麦わら編み細工
 - 7月 12日(日) 10:00~16:00 大森麦わら象嵌細工
- ②夏休み体験学習会(小学3年生以上)
 - 7月 28日(火) 13:00~16:00 大森麦わら張り細工
 - 7月 29日(水) 13:00~16:00 麦わらのホテルカゴづくり
 - 8月 21日(金) 13:00~16:00 大森麦わら張り細工
 - 8月 26日(水) 13:00~16:00 麦わらのガラガラ鳴るおもちゃづくり
- ③担当学芸員によるミュージアム・トーク
 - 7月 11日(土) 14:00~15:00 近代の海苔養殖のあけぼの
 - 8月 1日(土) 14:00~15:00 麦わら細工から麦稈真田へ
- ④博物館講座
 - 9月 12日(土) 14:00~16:00
 - 乗合馬車—鉄道—電車—バス—明治期地域の交通の変遷—
 - 講師:佐藤信之先生(交通評論家)

※いずれの催事も会場は郷土博物館2階の会議室。詳細は下記の二次元コードを読み込んでご確認ください。

大田区立郷土博物館 Ota City Folk Museum

〒143-0025 東京都大田区南馬込五丁目11番13号
TEL 03-3777-1070 FAX 03-3777-1283
URL <https://www.city.ota.tokyo.jp/seikatsu/manabu/hakubutsukan/index.html>

